

令和2年度 第4回 静岡市上下水道事業経営協議会 会議録

1 日時 令和2年12月18日(金) 13:30~16:10

2 場所 静岡市上下水道局庁舎 7階71会議室

3 出席者

(1) 委員(五十音順、敬称略)14人出席/14人全体(うち3人リモート参加)

青山委員、内野委員、浦松委員、江川委員、落合委員、狩野委員、小塩委員、高山委員、田代委員、田中委員、松浦委員、宮下委員、森田委員、渡邊委員

(2) 上下水道局職員

森下公営企業管理者、丸岡上下水道局長、服部次長兼水道部長、石垣下水道部長、杉本水道技術担当部長、一柳経営企画課長、花村水道総務課長、杉山お客様サービス課長、星野参与兼水道基盤整備課長、望月参与兼水道管路課長、山下水道施設課長、浅井水質管理課長、見城水道事務所長、宮崎葵北水道施設担当課長、稲葉水道維持担当課長、榊原下水道総務課長、石原下水道計画課長、森田参与兼下水道建設課長、大石下水道維持課長、大石下水道施設課長、佐野下水道事務所長、戸塚浄化センター担当課長

(3) 協議会事務局職員

一柳経営企画課長、石原下水道計画課長、外10名

4 傍聴者4人(報道2社)

5 内容

(1) 開会

(2) 報告事項

① 雨水総合排水計画(基本構想)について

資料1-1 静岡市雨水総合排水計画(基本構想)【更新】概要

資料1-2 「静岡市雨水総合排水計画(基本構想)見直し」に関するパブリックコメント結果報告

(3) 議事

① 令和元年度施策等の進行管理 施策の外部評価意見まとめ

資料2 令和元年度 施策外部評価(案)

資料3 令和2年度 第3回静岡市上下水道事業経営協議会 各施策に対する御質問等への回答

資料4 令和2年度 第4次中期経営計画 各事務事業の各指標の単年及び累積の別

●政策1 施策(1) 重要な管・施設の地震対策

質疑無し。

●政策1 施策（2）浸水対策

[内野委員]

「なお、年々…「C」とする評価もあった。」としているが、その他意見という意味合いで記載しているのかお教えいただきたい。

[事務局]

「C評価」とする意見もあったが、外部評価のまとめとしては「B評価」としたという意味合いであり、その他意見ではなく外部評価まとめとして記載する。

●政策2 （1）管・施設の老朽化対策

[内野委員]

「実績を挙げる」の「挙げる」はこの漢字でよいか。

[事務局]

漢字の表記に疑義があるため、ひらがなでの表記とする。

※他の「外部評価まとめ（案）」に記載されている「挙げる」も同様に修正する。

●政策3 （2）温暖化対策

質疑無し。

●政策5 （2）職員の技術習得

質疑無し。

●政策5 （3）財政の健全化

質疑無し。

[内野委員（会長職務代理）]

先程の意見を踏まえ、修正したものを、資料2の内容を令和元年度施策に対する外部評価とする。

② 第4次中期経営計画・事務事業個票の改定（案）について

資料5 第4次静岡市中期経営計画 委員意見の対応一覧

資料6 第4次静岡市中期経営計画 事務事業個票の改定（案）

●政策1 施策（2）①雨水総合排水計画の更新

[田代委員]

これから活動指標の令和2年度から令和4年度まで、「短期計画地区」、「中期計画地区」、「長期計画地区」と称するとのことだが、中期経営計画というものを進めている中で、「短期」、「中期」、「長期」という概念がその中にあるということで混乱が生じないか。

また、短期、中期、長期の定義づけはどのようになっているのか。

[下水道計画課長]

資料1-1の裏面「段階的整備計画」に記載のとおり、計画目標年次として短期計画を令和12年度までの10年間、中期計画を令和11年度から令和22年度までの10年間、長期計画を令和23年度から令和52年度までの30年間として設定をしている。そして中期経営計画に記載のとおり、令和2年度から各期計画地区の基本計画を策定することとしている。

[田代委員]

中期経営計画の中に「短期」、「中期」、「長期」という言葉を含めることで混乱が生じないのであれば問題ない。

[松浦委員]

「短期計画地区」、「中期計画地区」、「長期計画地区」としているが、これは各計画地区においてど

この地区を実施するかは決まっているのか。令和2年度から令和4年度にかけてどの地区を採択するのかを決めていくのか。

[下水道計画課長]

資料1-1の「段階的整備計画」に記載の表のとおり、「短期計画」で対策する地区は浸水対策プランの未完了地区で、その完成を目指すものであり、「中期計画」で対策する地区は浸水リスクの高い地区を中心に実施していくこととしている。

雨水総合排水計画の更新を進めて行く中で図面に示せるようにしていく。

●政策2 施策(2) ①施設の小規模化・統廃合

[高山委員]

中町浄水場は令和2年度に停止し、令和4年度までに地元と協議し、利活用の方針を決めていくとのことだが、地元としてはどのようなものをやるかという協議を1年くらい実施し、その1年くらい後には完成という希望を持っている。今後の流れ等を具体的に説明していただきたい。

[水道施設課長]

中町の跡地活用については、今現在、停止に伴い固定資産の算定等を行っている。また、中町浄水場を撤去した際の参考見積の取得に加え、市のアセットマネジメント推進課に活用手法を聞き取っているところである。また、庁内での利活用の有無の確認について照会中である。

今後の方向性については、市内部の利活用の有無を確認するとともに、地元の方々からの御意見を頂戴しながら検討していく。

[高山委員]

色々と難しい面もあると思うが、水道施設を廃止したからそれで終わりではなく、地域としては90年の歴史がありレガシーでもあることから、是非地域の人達が納得できるように前向きに検討していただきたい。

[水道施設課長]

今後も地元との協議もあるため、御協力の程お願いしたい。

[狩野委員]

「効果」には、「施設の効率的な運転や、維持管理費の軽減が図られます。」と記載されているが、「谷津山配水池の停止」や「中町浄水場・配水池の停止」といったものが、施設の効率的な運転や維持管理費の軽減につながると判断してよいか。

また、どれくらい施設の効率的な運転が期待できるかということや、維持管理費がどれくらい軽減されるかという試算はしているか。

[水道基盤整備課長]

例えば谷津山配水池の停止については、谷津山配水池が補っていた配水区域を他の配水池がバックアップすることで施設の効率的な運転につながる。

また、維持管理費の軽減については、成果指標にも記載のとおり、元々令和2年度目標である140万円が977万円の軽減額となった。この軽減額の増加は中町浄水場・配水池の停止により、電気代や点検に要する費用等が不要となったことによるものである。令和3年度、令和4年度についても同様の理由で維持管理費が軽減している。

[狩野委員]

成果指標の赤字記載額は、中町浄水場・配水池の停止に伴うものであるということによいか。

[水道基盤整備課長]

令和2年度に麻機ヶ丘ポンプ場及び高置水槽の停止による計減額 140 万円があるため、それと中町浄水場・配水池の停止の計である 977 万円が計減額となる。

また、令和4年度では蒲原城山配水池の1池停止もあり、これらを加味した金額となっている。

[松浦委員]

維持管理費の軽減額とあるが、これは各年度の前年比か、それとも平成30年度比かお教えいただきたい。

[経営企画課長]

成果指標に記載されている金額は、その年ごとに削減できる維持管理費の合計を示しており、単年度ごとに平成30年度と比べている。

●政策4 施策(3) ②サービス体制の再構築

[松浦委員]

多機能化した次世代型コールセンターとしているが、コールセンターというと電話をイメージする。記載内容を見てみるとインターネットを利用したものかと思うが、これはインターネットと電話が複合したサービスなのか。どのようなものをイメージしているかをお教えいただきたい。

[お客様サービス課長]

従来のコールセンターは電話対応によりサービスの開始・停止等をしていた。次世代型コールセンターでは、例えばお客様からスマートフォンで質問をいただき、そのスマートフォン宛てに回答が返ってくるものや、宅配便サービスのように、水道等の使用開始・中止についても定型的な申込受付ができるようなものを検討している。

●政策4 施策(4) ③積極的な広報活動

[狩野委員]

「ホームページの掲載回数」を成果指標から活動指標に変更することについて、どのような利点が考えられるか。

[下水道総務課長]

こちらは委員の皆さまから成果指標としていた「ホームページの掲載回数」は活動指標が望ましいのではないかと、という御意見を受けて検討した結果、そのとおりであると考え、変更をした。

その結果、新たにテレビや新聞などのメディアに掲載される「メディア露出度」という指標を設定した。新たな指標の目標値については、3月までに検討して設定していきたい。

[狩野委員]

上下水道局広報誌の「くらしと水」のレイアウトについて気になっている。

市民の皆さんに見ていただきたい記事(料金の改定や支払方法等)や事象についての記事(〇〇が■■に訪問したなど)があるが、広報誌の中で記事の順番がランダムに配置されていることがある。

市民の皆さんに見ていただきたい情報から載せて、事象についての記事は順番としては最後が良いと思うがいかがか。

[下水道総務課長]

今いただいた御意見を参考にしながら、今後も市民の皆さんに伝わる、理解していただける広報を検討していく。

●政策5 施策(2) ①各種研修の充実

[高山委員]

水道技術に関する資格取得度について1.4件/人としているが、何も取得していない職員もいれば、一人で複数件資格を取得する職員も出てくると想定されるがどうか。

[水道総務課長]

算出根拠としては、水道技術職員が160名に対して、日本水道協会が水道維持管理に基づく指標に記載している資格（水道技術管理者、水道布設工事管理者、給水工事主任技術者等）が224件であるため、一人当たりの資格取得度を1.4件と算出している。

委員御指摘のとおり、職員全員が持っているとは限らず、一人の職員が複数の資格を取得している場合もある。今後資格が必要な職員数等を確認していき、きめの細かな指標が可能であれば検討していきたいが、現時点では他の政令指定都市と比較検討のできる本指標を成果指標としている。

[高山委員]

資格の件数の表示とした際に、小数点以下の表現が適切か。本来であれば1件、2件といった表現になるのではないか。

[水道総務課長]

現時点では他の政令指定都市との比較が可能である本指標を示しているが、表現も含めて改定に向けて検討していきたい。

[小塩委員]

成果指標は資格取得度とするのではなく、研修の受講や資格を取得したことによる水道部としてのメリットを示すことが成果指標になるのではないか。技術習得によって何につながったか、ということが示せれば、ユーザーとしては研修等の効果が実感できる。

[水道総務課長]

資格を取得したことによる直接的な効果を表現することは難しく、水道経営の基本となる資格であり、安定した経営や市民の皆さまへの安全・安心の水を供給することの基礎につながる研修や技術であるため、この指標を設定している。

[小塩委員]

市民生活につながるメリットが表現可能であれば、その方が分かりやすい指標となるため、検討いただきたい。

●政策5 施策（4）①国際協力に係る情報収集と実施などの検討

[江川委員]

国際協力事業を「海外研修員の受入れ」に絞り込んでいて、今まで受入れの依頼はなく、今後も令和2年度以降も実施となっているが、あくまで依頼があった場合は実施するというスタンスであるか。それとも開発途上国のニーズ調査をしていく中で、何らかのニーズや依頼が入ることも可能性としてあるという考えであるかお教えいただきたい。

[経営企画課長]

過去に静岡市において、海外研修員の受入れを行った実績があり、将来的に依頼が絶対がないということはない。また、今年度からJICAの静岡デスクにニーズ調査を行っている。ニーズ調査する中で、依頼があった場合は受入れをしていきたい。

また、今の時点では職員を海外に派遣するところまで至ってはいないことから、このような指標を設定している。

[宮下委員]

海外からの研修生で来られた方は、技術を身に付けても帰ってしまい、投資しても成果が出ないということになりかねないと聞いた覚えがあるがいかがか。

[経営企画課長]

成果指標の「海外研修員の受入れ」は、海外からの研修生が静岡市で働いていただく、ということではなく、静岡市の技術や知識を習得し、母国で活かし役立てていただくことを目的としている。

[松浦委員]

本指標は SDGs の「安全な水とトイレを世界中に」に合致していると思うので、SDGs の視点を説明に盛り込んでもいいかと思う。

また、人口減少で経営が守りに入っているところが印象として見受けられる。例えば海外で日本よりインフラ整備が早く進んでいる国では、老朽化に対して積極的に取り組んでいる国もあるため、広く海外の知見を取り入れていくという方向も盛り込んでも良いか考えるがどうか。

[経営企画課長]

松浦委員のおっしゃるとおりで、国際協力に係る情報収集と実施については体制が整っていない点もあるため、令和3年度と令和4年度の2年間を次期中期経営計画への土台作りとして、今後実施可能であるかを含めて検討を進めていきたい。

●今後の改定に向けて

[内野委員（会長職務代理）]

本来であれば、委員の皆さまと改定案を確認して、協議会の場で改定について決定すべきところではあるが、今回は最後の協議会であるため、ただいま伺った意見及び後日提出していただいた意見を事務局がとりまとめ、修正すべきところは修正したうえで会長に確認していただくこととしたいがよいか。

[協議会委員一同]

異議なし。

[内野委員（会長職務代理）]

それでは、修正を含め改定案については、会長一任とする。

[森田会長]

今後意見等をいただいた際は、私の方で確認をさせていただく。

③ 評価報告書について

資料7 令和元年度 評価報告書（案）

[内野委員（会長職務代理）]

評価報告書を2枚めくっていただいたところに「評価の総括」というページがある。そこに今年度の外部評価等で委員の皆さんからいただいた意見を踏まえ、総括の案を森田会長に作成していただいた。この内容について、確認をお願いしたい。

[協議会委員一同]

異議なし。

[内野委員（会長職務代理）]

それではこの内容で後程公営企業管理者に提出する。

④ 第5期活動報告書について

資料8 第5期活動報告書

[内野委員（会長職務代理）]

活動報告書の案についても事前に森田会長に作成していただいた。この内容について、確認をお願いしたい。

[協議会委員一同]

異議なし。

[内野委員（会長職務代理）]

それではこの内容で後程公営企業管理者に提出する。

(4) 第5期協議会を振り返って

(5) 評価報告書及び第5期協議会活動報告書の提出

(6) 会長挨拶

(7) 静岡市公営企業管理者謝辞

(8) 閉会

〈連絡事項（事務局）〉

資料9 第4次中期経営計画改定案への委員意見記入用紙

資料10 静岡市上下水道事業経営協議会の運営等に関する御意見記入用紙

第4次中期経営計画の事務事業個票の案について御意見等があれば、令和3年1月8日（金）までに資料9にてお送りいただきたい。

また、静岡市上下水道事業経営協議会の運営等に関する御意見記入用紙を、令和3年1月8日（金）までに提出していただきたい。

確認

静岡市上下水道事業経営協議会会長

(署名)
